

時期を前倒しできないか。
企画部長 新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の竣工年度をめぐりにしている。
議員 近年の大地震では天井材の落下など「非構造部材」の被害が発生している。市の防災上重要な公共建築物において落下により重大な危険が生じる恐れがある天井等への対応が必要だ。
市長 建築基準法で定められた定期点検に合わせ非構造部材の目視による点検を

行い、適切な対応を検討していきたい。また、耐震補強工事の際に耐震天井導入等の取り組みを行っている。
議員 学校施設の非構造部材の安全性の調査方法と把握状況について伺う。
教育長 各学校の教職員による目視を中心とした点検の結果、緊急対応を要する箇所は見当たらなかった。今後は、専門事業者による点検・調査を計画的に行い、適切な対応に努めたい。

自由民主党クラブ **吉野 和之 議員**
議員 ICT教育は、先進的、積極的に推進しつつ、インターネット依存症等の問題点も考慮すべきだ。コンピュータそのものに関する基本的見解と教育の場での対応策を伺う。
教育長 暮らしを豊かにする反面、様々な問題も引き起こしていると認識している。教育の場では、心の教育とともに、情報モラルの育成を重視していきたい。
議員 市内小中学生のインターネット依存の現状と今後の対応策を伺う。

自由民主党クラブ **石井 良司 議員**
議員 生活保護受給者は毎年増え続け、過去最高を更新している。本市における生活保護受給世帯数、受給者数の動向と現状を聞く。
市長 本市においても、一貫して増え続けている。7月末現在の受給者は2千799世帯、3千600人だ。
議員 本年8月の生活保護費の基準改定による本市及び受給者への影響を聞く。
市長 概算で月額約300万円、1世帯当たり約1千310円の減と受け止めている。
議員 平成23年度の生活保護費の不正受給は、全国で件数、金額ともに過去最悪を更新した。本市の不正受給の状況と対応を聞く。
市長 不正受給は、受給者の一部だが課税調査等による

自由民主党クラブ **赤松 大一 議員**
議員 急速な高齢化が進む中で、がん・心臓病・脳卒中等の生活習慣病が増え続けている。各種健康診査の受診率向上が重要と考える。市の取り組みを伺う。
市長 第二期三鷹市特定健康診査等実施計画の中で、受診率目標を掲げ、対象者への個別勧奨通知をはじめポスター掲示など様々な機会を捉えて啓発している。
議員 市民の健康増進のため、各種健康診査の受診や

子どものネット依存症対策 詳細な利用の現状把握を



市立中学校で実施されたセーフティ教室

生活保護制度の適正運用へ 受給世帯調査を厳格化せよ



議員 生活保護に対する批判を見られており、生活保護法第78条に基づく返還金として処理している。
議員 不正受給の返還金の金額と返還率を聞く。
健康福祉部長 約1千200万円強、約1.7%の返還率だ。
議員 返還率が低すぎる。しっかりと回収すべきだ。
健康福祉部長 国の動向等を見ながら、返還金の収納に努めていきたい。
議員 生活保護に対する批判を多く聞く。生活指導等に加え、生活保護世帯への家庭訪問と収入等の調査を厳格に行うべきだ。
健康福祉部長 計画に基づき家庭訪問をしている。生活保護制度の適正運営の確保と自立支援を今後も徹底していきたい。

公明党 **赤松 大一 議員**
議員 急速な高齢化が進む中で、「健康マイレージ」がさまざまな事業を実施している自治体がある。本市も導入せよ。
市長 健康づくりへの積極的な参加を誘導するために実施している自治体があることは認識しているが、導入は検討課題としたい。
議員 高齢者公衆浴場無料入浴事業に関して「公衆浴場まで歩いて行けない、公共交通が不便」などの声が寄せられている。近隣市と

公明党 **寺井 均 議員**
議員 災害対策基本法改正により、災害時要援護者支援事業に変更等はあるか。
市長 国の指針を踏まえた具体的な対応について、関係部署と十分な連携を図りながら検討を進めていく。
議員 障がい種別や介護状況等に合わせた個別支援、行動計画の方向性、考え方を伺う。
市長 国の方針をどう具体的に市の現場で対応できるのか、慎重に、かつ迅速に検討を加えていきたい。
議員 東日本大震災でも震災関連死が相次いだ。努力義務とされた避難所の環境整備に取り組むべきだ。
市長 教室や会議室の活用や仕切り・床用マットの備

公明党 **粕谷 稔 議員**
議員 社会資本の適正な維持管理と長寿命化は、次世代の安全安心に貢献する重要な課題だ。本市の下水道劣化調査の現状を伺う。
市長 月一回、コンクリートの劣化状況等を目視点検している。今後、長寿命化

公明党 **緒方 一郎 議員**
議員 待機児童対策には、質と量のバランスの取れた多彩な保育体制を構築すべきと考える。本市における保育のあり方を伺う。
市長 待機児童の解消には最重要課題として取り組んでおり、保育の質を確保した上で、既存の公立保育園の運用定員の弾力化を行っている。今後も、民間事業者を中心とした保育施設の誘致・整備が求められる。
議員 総合的な保育事業を幅広く支える観点から、幼・保・小連携等の実践について所見を伺う。
教育長 給食体験や学童保育体験等の実施、教育支援として就学支援シート作成等を行っている。地域コ

安全安心を次世代に伝える 社会資本総点検の推進を



公明党 **粕谷 稔 議員**
議員 社会資本の適正な維持管理と長寿命化は、次世代の安全安心に貢献する重要な課題だ。本市の下水道劣化調査の現状を伺う。
市長 月一回、コンクリートの劣化状況等を目視点検している。今後、長寿命化

の相互乗り入れ、交通不便地域への移動支援、同伴者への使用拡大を検討するとともに、利用者へのアンケート調査を実施すべきだ。
健康福祉部調整担当部長 <その他の質問>市への各種届の手続について

点では難しいと考えるが、利用者へのアンケート調査の実施も含めて、市内公衆浴場組合とも協議する中で今後の検討課題としたい。
市長 都の要領(案)に基づき、近接目視とハンマーにより5年ごとに点検してい

る。調査履歴は電子データ化し検証に活用している。
議員 道路の空洞化による陥没事故未然防止のため、災害時の緊急輸送道路、幹線道路、河川沿いの生活道路等を中心に丁寧に検査すべきだ。電磁波調査の導入について所見を伺う。
都市整備部長 同手法の精度等を研究し検討する。当面はパトロールによる路面状況変化の把握に努める。

議員 道路の診断等に地元業者のプロポーザルを採用したり、緊急工事等で地元業者への発注機会を広げれば、まちの問題点の情報共有と地域経済の活性化につながる。検討できないか。
第二副市長 市内業者を助成する発注方法を、様々な角度から検討したい。
<その他の質問> 動物共生社会について/平和施策について


議員 ミュニティの中で子どもを見守り、育てられる連携事業を推進していきたい。
議員 保育園における障がい児の受け入れと巡回発達相談等の支援体制を伺う。
市長 障がいのある子どももいっしょに育ち合う喜びを共有できる統合保育を実践している。心理療法士等の専門職による巡回発達相談を行い、保護者との情報共有に努めている。

保育の質・量ともに満たす 多彩な保育体制を構築せよ



公明党 **緒方 一郎 議員**
議員 待機児童対策には、質と量のバランスの取れた多彩な保育体制を構築すべきと考える。本市における保育のあり方を伺う。
市長 待機児童の解消には最重要課題として取り組んでおり、保育の質を確保した上で、既存の公立保育園の運用定員の弾力化を行っている。今後も、民間事業者を中心とした保育施設の誘致・整備が求められる。
議員 総合的な保育事業を幅広く支える観点から、幼・保・小連携等の実践について所見を伺う。
教育長 給食体験や学童保育体験等の実施、教育支援として就学支援シート作成等を行っている。地域コ

地域の連携と協働を推進し 子どもの命と安全を守れ



民主党 **石原 恒 議員**
議員 私たち市民は、様々なリスクの中で生活してい

る。調査履歴は電子データ化し検証に活用している。
議員 道路の空洞化による陥没事故未然防止のため、災害時の緊急輸送道路、幹線道路、河川沿いの生活道路等を中心に丁寧に検査すべきだ。電磁波調査の導入について所見を伺う。
都市整備部長 同手法の精度等を研究し検討する。当面はパトロールによる路面状況変化の把握に努める。

議員 ミュニティの中で子どもを見守り、育てられる連携事業を推進していきたい。
議員 保育園における障がい児の受け入れと巡回発達相談等の支援体制を伺う。
市長 障がいのある子どももいっしょに育ち合う喜びを共有できる統合保育を実践している。心理療法士等の専門職による巡回発達相談を行い、保護者との情報共有に努めている。

議員 道路の診断等に地元業者のプロポーザルを採用したり、緊急工事等で地元業者への発注機会を広げれば、まちの問題点の情報共有と地域経済の活性化につながる。検討できないか。
第二副市長 市内業者を助成する発注方法を、様々な角度から検討したい。
<その他の質問> 動物共生社会について/平和施策について

議員 ミュニティの中で子どもを見守り、育てられる連携事業を推進していきたい。
議員 保育園における障がい児の受け入れと巡回発達相談等の支援体制を伺う。
市長 障がいのある子どももいっしょに育ち合う喜びを共有できる統合保育を実践している。心理療法士等の専門職による巡回発達相談を行い、保護者との情報共有に努めている。

地域の連携と協働を推進し 子どもの命と安全を守れ



民主党 **石原 恒 議員**
議員 私たち市民は、様々なリスクの中で生活してい